

まずわが身の安全を図れ



丈夫なテーブル、机などの下に身をかくして、しばらく様子を見る

9月1日は防災の日

# 地震の心得10か条

すばやく火の始末



過去の例から大地震で怖いのは火災。地震を感じたらすばやく火の始末をする

火が出たらまず消火

万一出火した場合には、初期のうち火を消すことが大切。大声で隣近所に声をかけあい、皆で協力して消火につとめる



あわてて戸外に飛び出すな

どんな大きな地震でも、大揺れは一分程度といわれている。あわてて外に飛び出すと、落下物などにより負傷するなど危険が多いので、周囲の状況をよく確かめて落ちついて行動する

狭い路地、へいぎわ、がけや川べりに近寄らない

狭い路地、へいぎわ、がけの上やがけ下、ブロックベいのそばなど危険な場所にいるときは急いで離れる



山崩れ、がけ崩れ、津波、浸水に注意

山ぎわや急傾斜地は、山崩れやがけ崩れがおこりやすい。海岸地帯では津波、低地では浸水のおそれがあるので、すばやく安全な場所に避難する

避難は徒歩で持ち物は最小限に

津波や大火災で避難を行うときは、消火、救急救護活動などの障害となるので自動車は絶対に使わず、必ず徒歩で避難する。持ち物は最小限にとめて、背おつなどとして身軽に行動できるように両手をあける

協力しあつて

応急救護

たくさんの方が出ると救急の手が回らないこともある。協力しあつて、応急救護をしよう。急場にはおたがい助け合おう



正しい情報をつかみ、余震を恐れるな

町役場、消防署、警察署などの指示に従って行動する。

一般的には余震は本震より小さいといわれているが、余震には十分注意し、沉着な行動をとる



秩序を守り、衛生に注意

身勝手な行動をとらず、秩序を守ろう。伝染病等の発生のおそれがあるので衛生には十分注意する

